

平成30年9月定例会

市議会だより



▲ 8/7 中学生議会開催

平成30年9月定例会会期日程

8月27日(月)	本会議／開会
9月 4日(火)	本会議／質疑・一般質問
5日(水)	
7日(金)	
11日(火)	文教福祉委員会
12日(水)	経済企業委員会
13日(木)	建設環境委員会
14日(金)	総務委員会
21日(金)	本会議／討論・採決

目次

● 議長就任挨拶	2
● 中学生議会	2・3
● 9月定例会	4・5
● 委員長報告	6・7
● 質疑・一般質問	8～12
● 特集	13・14
● 採決結果	15
● 編集後記	16

編集・文責／八代市議会広報委員会

福嶋議長

就任挨拶



議長 福嶋 安徳

市民の皆様には、日ごろより市議会に對しまして、深い御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

私は、去る八月二十七日に開かれました九月定例会におきまして、議員の皆様のお推挙を受け、合併後八代目となる八代市議会議長に就任いたしました。

その職責の重さを十分認識し、開かれた、より信頼される議会を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今年は、日本各地で地震や豪雨・台風に伴い、甚大な被害が多発いたしております。いまだ熊本地震の爪跡も残る中、本市におきましては、防災対策はもとより、深刻な少子高齢化・人口減少社会を迎え、行政課題も山積しており、より一層厳しい市政の運営が求められております。

多岐にわたる課題への取り組みが求められる中、そして地方分権時代が本格化する今、市議会の果たす役割と責任は、従前に増して格段に重要になってきております。

市議会といたしましては、今後一層、これらの諸問題を解決するためにその役割と重責を改めて自覚するとともに、より開かれた議会を目指しながら、審議・議決機関としての機能を最大限に発揮すること、より多くの皆様の負託に応えてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、今後とも一層の御支援、御協力を賜りますようお願いからお願い申し上げます、就任の御挨拶といたします。

平成30年度 八代市中学生議会 開催される

市町村合併10周年を記念して3年おきに開催されている八代市中学生議会の第2回目が、8月7日に八代市議会本会議場で開催され、市内各中学校から2名の代表者が市政に対する質問や意見・要望を述べました。



【主な質問内容】

- 熊本地震を受けての今後の復興について
- 災害に強い安心・安全なまちづくりについて
- 地域の活性化と文化交流について
- 伝統と文化の継承について
- 環境問題について
- 障がい者の自立と支援について
- 農業人口の確保・育成とイグサを保護する取り組みについて





中学生議会を体験して感じたこと



議長を務めた
村島 悠斗 議員
(東陽中)

議長という貴重な体験をさせてもらったが、緊張して声あまり出ていなかったり、舌が回らなかったりすることがあった。

でも、いい体験ができたと思う。後輩にもぜひチャレンジしてもらいたい。



副議長を務めた
大野 義一郎 議員
(第一中)

自分の考えた意見が実際に八代市への意見として通ったことがとても嬉しかった。

また、今まで知らなかった八代市の取り組みは自分たちの生徒会活動にも参考になると思うから良かったと思う。

その他の感想

● 中学生議会に参加して、市長さんなどたくさんの方がいる中で発表するのはとても緊張しましたが、しっかり大きな声で発言することができました。今回、八代の現状・未来についてとても考えられた一日でした。このような貴重な体験をすることができてとても良かったです。今後もっと八代が良いところになるように自分にできることを精一杯やっていきたいと思います。

● 私自身知らなかったことについての答弁を聞け、新しい発見ができました。また、他の学校の人の質問や答弁もしっかり聞くことができました。議会についても知らないことがたくさんあったけど、知ることができてとてもありがたい機会になりました。

● 今回の中学生議会でも市に対する関心を深めることができました。市に自分が協力できることがあったら、積極的に行動しようと思いました。

● 今回、とても貴重な機会をいただき、自分自身を成長させることができたと思います。また、いち中学生である私の思いが、市長に届き、男女共同参画社会を目指す八代市がさらによい方向に進むことを大変うれしく思います。

9月定例会は、8月27日から9月21日まで開催され、条例議案6件、予算議案4件、発議案3件、その他5件を審議しました。

主な議案は次のとおりです。

条例制定・改正など

(主なものを
抜粋して掲載)

可決



◆契約の締結について

工 事 名：八代市本庁舎外解体工事
 工 事 場 所：八代市松江城町1番25号
 契 約 金 額：5億976万円
 契約の相手方：園川組・土井組・吉田開発
 建設工事共同企業体

◆八代市坂本地域福祉センター条例等の一部改正等について

坂本地域福祉センター、鏡老人デイ・サービスセンター及び東陽地域福祉保健センターで実施しているディサービス事業を廃止し、並びに各地域の福祉（保健）センターの施設間における利用権の譲渡等の禁止事項、使用料の還付等に関する規定の統一を図るに当たり、関係条例の改正・廃止を行うもの（平成31年4月1日施行）



◆日奈久温泉イベント広場条例の一部改正について

観光施設の適正な管理及び運用を図るため、施設等の利用負担の観点から、施設利用を有料化するに当たり、使用料に関する規定を新設するもの（平成30年10月1日施行）

予算

(主なものを抜粋して掲載)

平成30年度一般会計補正予算 4億6,610万円

可決

市立病院外来機能譲渡に伴う 関連経費等

◆仮設外来診療棟を譲渡するにあたり、病院本館から接続している給水設備、電気設備及び通信設備等の改修工事費等、必要な経費を補正するもの。

仮設外来診療棟改修工事費

2,582万円

リース資産繰上償還

3,060万円

レントゲン撮影装置等

1,880万円



生活交通確保維持事業

◆八代駅は本市の重要な交通拠点であり、市民の利便性を確保する必要があることから、八代駅駅舎改築工事に合わせ、バス乗り場や屋外トイレを結ぶ通路へのシェルター（ひさし）等設置工事に要する経費を補正するもの。

八代駅バス停シェルター（ひさし）等設置工事

2,100万円

◆平成30年6月19日、7月5日～8日にかけての梅雨前線豪雨及び7月3日～4日の台風7号で被災した施設の速やかな復旧・復興を図るため、予算補正を行うもの。（なお、本事業については、専決処分したものもある）

災害復旧事業（補正措置分）

- (1) 公共土木施設災害復旧費 **6,630万円**
道路橋梁施設：4,730万円、河川施設：1,900万円
- (2) 農林水産施設災害復旧費 **3,730万円**
農業施設：650万円、林道施設：3,080万円
- (3) 公立学校施設災害復旧費 **575万円**

※専決処分したもの（1,000円未満切り捨て）

- ・公共土木施設災害復旧費 **3,590万円**
道路橋梁施設：2,500万円、河川施設：1,050万円
港湾施設：40万円
- ・農林水産施設災害復旧費 **3,576万円**
農業施設：802万円、林道施設：2,774万円
- ・公立学校施設災害復旧費 **203万円**



施設整備事業

◆本市が所管する施設において、建築基準法施行令の基準に不適合と認められるコンクリートブロック塀が確認され、安全性を確保する観点から改修に必要な経費を補正するもの。

農林水産施設	1施設	91万円
公園施設	2公園	308万円
小学校	6校	1681万円
中学校	3校	1355万円
社会教育センター	3施設	173万円



委員長報告

全ての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、八代市議会においては、所管の各委員会に付託され審査がなされています。委員会では審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、九月二十一日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

文教福祉委員会

◆平成三十年度八代市一般会計補正予算・第六号中、歳出の第九款・教育費、第一項・教育総務費、教育サポートセンター費の教育サポート事業七十九万一千円について

説明 本事業は、適応指導教室のくま川教室において、建築基準法施行令の基準に適合しないコンクリートブロック塀が確認された。具体的には、教室側の高さが一メートルを超え、児童生徒が日常、通行する可能性がある二力所について、安全性確保の観点から上段二段を撤去するための経費である。

問 ブロック塀は外から室内が見えないよう、目隠しの目的もあったと推測されるが、撤去後、代わりになるものを設置する予定はあるのか

答 当該ブロック塀は駐車場と民家の間に設置されているものであり、撤去したことにより教室が外から見える状況にはならない。

◆平成三十年度八代市一般会計補正予算・第六号中、歳出の第三款・民生費、第二項・児童福祉費、児童福祉総務費の母子家庭等自立支援対策事業八百三十五万三千円について

説明 本事業は、母子家庭の母または父子家庭の父が看護師や介護福祉士などの資格取得のため、一年以上養成機関で修業する場合に、修業期間中の生活の負担軽減のために給付される「母子家庭等高等職業訓練促進給付金」の支給対象が、本年度、制度改正により拡充されたことによる増額分と、給付金の新規申請者が当初の見込みより増加したことによる不足分を今回、補正するものである。

問 制度改正による増額分の内容について

答 今回、新たに七名が対象となり、増額となった。

問 現在、高等看護学校に通われて二年目の方や准看護師として一旦就職された後、高等看護学校に通われる方も対象となるのか

答 本改正は平成三十年四月からの適用であること、さらには、准看護学校卒業後、引き続き高等看護学校へ通われる方が対象であるため、在学二年目の方や一旦就職された方は対象とはならない。

その他の主な質疑

○小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業において、建築基準法施行令の基準に適合であるコンクリートブロック塀が確認されたものの、今回、補正の改修対象となっていないブロック塀が存在する小中学校における安全対策について
○ブロック塀改修に係る国からの予算措置について

経済企業委員会

◆平成三十年度八代市病院事業会計補正予算・第一号について

説明 今回の補正の主な内容は、今年度末に予定している外来機能譲渡と病院事業廃止に向け、病院本館から引き込んでいる給水設備、電気設備及び通信設備を単独設備として切り離す経費などの補正及び、建築基準法施行令の基準に不適合と認められるコンクリートブロック塀の改修に必要な経費を補正するものである。

問 今後、譲渡する予定の病院に対し、今回レントゲン撮影装置を更新する必要があるのか

答 外来機能譲渡については、現在協議中である。外来機能譲渡に際し、仮設診療棟を単独で機能できるようにするとともに、現在、レントゲン撮影装置は、危険性のある病院本館に残っており、安全性の面からも移設する

必要がある。さらに、当該レントゲン撮影装置は、昭和六十一年に整備した機器であり、耐用年数も大幅に過ぎていることから、更新する必要がある。また、レントゲン撮影装置は診療所の機能としては最低限必要な医療機器であることから、医療的な立場から考慮し、今回、更新するものである。

問 今回、高額な機器更新は譲渡する予定の医療機関と協議のうえ設備投資をするものか

答 外来機能譲渡に向けて協議は進めている。現地で外来診療を継続するために、仮設診療棟を一つの建物として機能させる必要がある。そこで、最低限必要な経費として、本館にある老朽化したレントゲン撮影装置を移設するのではなく、新たに更新すると判断したものである。

意見 譲渡が決定していない中、これだけの設備投資をすることについては受け入れがたい部分が多く、反対である。

意見 病院本館を解体するに当たり、本館から接続している電気や水道設備を改修する必要がある、レントゲン撮影装置については、医療的な立場からも最低限必要な医療機器であると理解できることから、賛成である。

現状の診療を維持するためには必要であり、地元住民が安心して受診できる状態にしていたいただきたいことから、賛成である。

建設環境委員会

◆平成二十九年八代市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

説明 本市下水道事業の概況と財務諸表等に基づき、平成二十九年年度の建設改良工事や下水道使用料に係る調定など、経営成績及び財政状態について説明

問 固定資産の売却損に係る一般会計への無償譲渡の内容について

答 当該資産は国庫補助金を活用し、今後の二次拡張等の施設用地のために確保した水処理センターの用地であったが、過去、本市で開催された国民体育大会の際に、球技場として当該用地を整備されて以来、スポーツ施設として目的外使用している状況であった。このような使用目的では、国庫補助金の返還等が生じてしまうので、長年に渡り国と協議を行ってきた結果、今回、国から一般会計への無償譲渡であれば、国庫補助金の返還は必要ないとの見解が示されたことから、今回、売却損は生じるものの譲渡を行ったものである。

総務委員会

◆平成三十年八代市一般会計補正予算・第七号について、歳出の第二款・総務費、第一項・総務管理費、交通防犯対策費の生活交通確保維持事業二千百万円について

説明 本事業は、現在、九州旅客鉄道株式会社により改築中である八代駅の新駅舎について、駅を利用する市民や観光客等のさらなる利便性向上のため、当該改築工事に合わせ、本市が駅舎からバス乗り場や屋外トイレまでの区間に駅舎と一体感のある日よけ、雨よけ用のひさしとなるシェルター及びベンチなどを設置するための経費である。

問 八代駅新駅舎改築に関連する予算を、今回、本市において計上した経緯について

答 八代駅舎の改築については、平成二十八年からJR九州と協議を重ねており、その中で、シェルター等についても設置の要望を行ってきたところである。しかしながら、JR九州としては、駅前広場については原状復帰をするとの方針であったことから、シェルター等については、市において、今回の駅舎改築に合わせ、整備するものである。

意見 これまでの協議の経緯及び、今回の補正予算計上については、理解したいと思う。

その他の主な質疑

○本事業の財源について

○今回設置するシェルターの仕様及び強度について

質疑 一般質問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、9月4日から7日までの4日間、14人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。(通告順)

質問通告

○平成三十年度前期定期監査とその報告
内容について
○地元企業の育成と活用について



大倉 裕一



◆地元企業の育成と活用について

問 本市の公共事業が果たす役割を伺う。

答 財務部長 本市の公共事業において地元企業を活用することで、地元企業の育成が図られ、地域における雇用の確保と新たな雇用の創出も期待され、地域経済の活性化にもつながっていくと考える。その結果、法人市民税など市税の収入増加も見込まれ、ひいては本市の財政面に対しても有利な影響が及ぶため、その果たす役割は大きいと考える。

問 公共事業の発注について市民は地元企業への発注を望んでいる。公共事業が果たす役割からも地元発注は影響が大きいと述べられた。そこで新庁舎建設において地元企業等への発注をどの程度考えておられるのか伺う。また地元発注を仕様書へ反映する考えを伺う。

答 財務部長 全てを地元企業で行うことは困難と想定されるが、できる限り地元企業等への配慮を行いたい。特記仕様書については、それぞれの段階で考えていきたい。

質問通告

○市立病院に係る補正予算について
○森林環境譲与税(仮称)に対する本市の取り組みについて
○本市のフードバレーやつしろの現状について
○国道四四三号沿いの道の駅設置について



橋本 幸一



◆市立病院に係る補正予算について

問 国民健康保険八代市立病院廃止に伴う医療機能再編計画は、八代地域医療構想調整会議及び、熊本県医療審議会で、それぞれ承認された。それを踏まえ、今定例会で補正予算が提案されているが、本来は廃止条例と同時に提案されるべきである。なぜ廃止条例より前に提案されたのか。また、その内容及び進捗状況について問う。

答 市長 平成三十年度末に予定している市立病院の外来診療機能の事業譲渡に向け、これまでどおり地域住民の健康を守るとともにスムーズな事業引継ぎを行うため、施設改修等の期間も考慮したうえで今回の補正予算提案となった。同時に、市立病院廃止に伴う医療機能再編計画に基づき熊本総合病院と事業継承に向けた協議も進めているが、その内容及び進捗状況についてはまだ公表できるレベルに達していない。



橋本 徳一郎



質問通告

- 八代市立病院について
- 新庁舎建設について
- 学校における熱中症対策とエアコン設置について

◆八代市立病院について

問 市は、平成三十一年三月をもって市立病院を廃し、病床は熊本総合病院及び八代北部地域医療センターへ、外来診療機能は熊本総合病院への譲渡で協議を進めている。今回、外来診療等の整備や病院廃止に伴う関連予算が提出されている。また、譲渡後の外来診療運営に際して、市は補助金を出さないと聞いている。そこで、本予算の提出根拠について問う。

答 市長 今回の補正予算では、本年度末の病院事業の廃止に向け、外来機能譲渡及び事業廃止に関する準備経費などを提案している。熊本総合病院との外来診療の事業譲渡の協議は進めているが、施設改修などの工事期間を考慮し、市の判断として予算をあらかじめ確保しておくという主旨である。



庄野 末藏



質問通告

- 高齢者の貧困について
- 障害者の雇用について
- 市管理温泉施設の安全対策について

◆高齢者の貧困について

問 高齢化が進む中、生活保護を受給する高齢者世帯が増加し続けており、高齢者が暮らしていく社会が目立ってきている。そこで、本市の高齢化の状況並びに高齢者の生活保護受給の状況及び課題について伺う。また、高齢者に対する支援について問う。

答 健康福祉部長 本市の高齢化率は、三二・八％。生活保護世帯の六〇・一％が高齢者世帯であり、収入が少なく生計が維持できないことに加え、有料老人ホーム等の費用が増えないなど、介護を理由とする申請が増加している。高齢者の抱える課題には、就労の場の不足、経済的困窮、単身高齢者の増加があり、これに対して、シルバー人材センターでの働く場の提供や介護サービス利用に係る負担の軽減、地域包括支援センターによる相談受付などの必要な支援を行っている。



西濱 和博



質問通告

- 酷暑に対する本市の認識と市民の健康と生命を守るための取り組みの強化について
- 若い世代が活躍できる若者政策に対する本市の認識と今後の取り組みについて

◆酷暑に対する本市の認識と市民の健康と生命を守るための取り組みの強化について

問 ことしの夏、八代市でも八月の平均気温が観測史上最高を記録した。熱中症が原因で、全国では百五十五人もの尊い命が失われた。熱中症は政府も自然災害と捉えており、すべての小中学校にエアコン設置のため予算措置する方針を固めたが、その予算規模、補助率、採択率等に課題もある。仮に補助率が低く見直された場合、本市の持ち出しがふえることになるが、来年度中に全ての幼稚園と中学校に、再来年度に小学校にエアコンを設置するという本市の当初の方針に変更はないか伺う。

答 市長 当初方針に変更ない。仮に予定の補助額より低くなった場合でも予定どおり実施したい。

問 ライフライン供給停止に関連し、国内で痛ましい事故が発生。県、本市で取り組んでいる見守り活動の今後のあり方について問う。

答 健康福祉部長 熊本見守り応援隊による支援やライフライン事業者に情報の提供を依頼し、包括的な対応・支援につなげていく。



前川 祥子



質問通告

- 児童の放課後対策について
- 本市における水産業振興について
- 本市の国際化に向けた取り組みについて

◆本市における水産業振興について

問 古くから本市水産物の安定供給のため、漁業は重要な役割を果たしてきた。しかし現在、全国的に水産資源の減少、魚食離れ、安価な水産物の輸入等による魚価の低迷。また漁業者の高齢化や後継者不足などのさまざまな問題に直面し、本市も例外ではないと思う。そこで、本市の水産業の現状と今後の取り組み、また特にこれまで効果があつた施策について問う。

答 農林水産部長

本市水産業は、漁獲量の減少、魚価の低迷に加え、漁業者の減少及び高齢化が進んでいる。また、ノリ養殖の衰退、平成二十三年には、アサリが壊滅的被害にあう等、厳しい状況にある。その様な中、一部漁場でのアサリ資源が回復する等、明るい兆しも見えている。今後も、効果の期待できる取組を継続するとともに、漁業者のニーズを踏まえた水産振興ビジョンを策定し、水産資源の回復・増大に資する取り組みを複合的に推進しながら稼げる水産業の実現を図る。



太田 広則



質問通告

- 西日本豪雨の教訓から見えてきた特別警報発令時の避難について
- 雨天時におけるやつしる全国花火競技大会の会場整備について
- 八代市結婚活動応援事業について

◆西日本豪雨の教訓から見えてきた特別警報発令時の避難について

問 本年七月の西日本豪雨災害は、特別警報が発令されたが、実際の避難者は非常に少なく、避難行動のおくれが浮き彫りとなり、犠牲者も二百人を超え、平成に入つての最悪の豪雨災害となつた。この結果を決して他人事と捉えてはならないと考える。本市は、この西日本豪雨災害の結果を踏まえて、どのように感じ、どのような教訓となつたのかを問う。

答 総務企画部長

今回の西日本豪雨においては、特別警報が激しい雨の中、真夜中に発表されたことが避難所に避難した人が少なかつた原因の一つであると考えている。本市としては、このようなことを教訓とし、地域防災計画の行動マニュアルに沿い、気象庁が発令する気象情報をもとに、速やかに避難情報が発令を行うこと、明るいうちに、早めの予防的避難を呼びかけることなどを繰り返し市民に周知徹底を行い、より一層速やかな判断と避難行動を行える体制づくりに取り組む。



北園 武広



質問通告

- 小学校運動部活動の社会体育移行について
- 協働のまちづくりの観点から捉える観光振興について

◆小学校運動部活動の社会体育移行について

問 八代つ子クラブ連絡協議会の確立に向けた新たな取組みの創出について、教育委員会として地域に寄り添う必要があると考えるが、八代つ子クラブ連絡協議会の安定した運営のために、どのように取り組み連携していくのか問う。

答 教育部長

教育委員会としては、社会体育移行後のクラブが円滑に運営されるよう、市長部局としっかりと連携を図りながら、子供たちが楽しく活動でき、保護者が安心して任せられるクラブ運営をサポートしていきたい。

問 八代つ子クラブ連絡協議会の安定した運営ができるまでの自立期間として、具体的に平成三十一年度から三十九年間で設けたらどうか、また予算確保と体制整備も含めた考えを問う。

答 経済文化交流部長

検討委員会において、社会体育の視点から想定される課題の整理や移行後の予算確保、適切な体制作りなど十分に協議を行い対応していく。



中村 和美



質問通告

- 平成二十八年熊本地震後の復旧状況について
- 光フロードバンド整備に対する市の対応と課題について
- 八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）整備の進捗状況について
- フードバレーやつしろの取り組みについて
- 本市におけるガソリンスタンド過疎地域への対応について

◆八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）整備の進捗状況について

問 八代の歴史や財産を、後世に残し、八代の伝統文化を子々孫々まで知ってもらうための伝承館建設は、すばらしいことと本議員も期待する。そこで現在、建設に向けての取り組みと、完成予定時期を伺う。また、建設後本町中央商店街へ観光客を呼び込むことが大切と思う。本町商店街の活性化対策の重要課題として、どのように対応するのか伺う。

【答】 経済文化交流部長 八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）の設計について、プロポーザル方式による設計者の公募を行い、公開プレゼンテーションと設計者選定審査委員会の審査を経て、東京都の株式会社平田晃久建築設計事務所を設計者に選定した。来年六月末の設計完了を予定しており、本体工事の竣工は二〇二〇年度末を見込んでいます。ワークショップによる市民意見を反映した伝承館の設計と市の取り組みの相乗効果により、中心市街地のにぎわいにつなげてまいります。



橋本 隆一



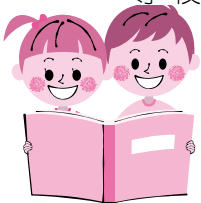
質問通告

- 地域包括ケアシステムについて
- 地域包括支援センターについて
- 八代市中学生議会の取り組みについて
- 小中学校における男女混合名簿について

◆小中学校における男女混合名簿について

問 学校における男女混合名簿の取り組みは、男女共同参画社会実現の視点から関連するテーマだと思われる。本市における男女混合名簿に対する教育委員会の認識について。また、男女混合名簿の現状と課題について。さらに今後の取り組みについて伺う。

【答】 教育部長 本市では、全ての小・特別支援学校、約六割の中学校で男女混合名簿が実施されており、今後、実施率の増加が望ましいと考える。中学校では男女別の授業の実施等により、男女混合名簿の導入に踏み切れない背景があるが、「八代市男女共同参画計画」に掲げる本市の将来像を踏まえつつ、性別で役割分担を考える固定観念をなくし、子供たち一人一人の個性を伸ばすという観点から、まだ導入していない学校に対して、男女混合名簿の導入をすすめていく。



質問通告

- 学校施設の安全対策について
- 中心市街地活性化について

◆中心市街地活性化について



金子 昌平



問 中心市街地を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えており、今後の二年間が最も重要であると認識している。中心商店街では、出店誘致活動やイベント等、活発に展開されている。しかし、新庁舎や伝承館との連携、インバウンド対策など、活性化を戦略的に進めるためには、明確なビジョンが必要だと考える。そこで、市の認識を伺う。

答 経済文化交流部長 市では、新たなにぎわいづくりを進めるため、「八代おもてなしプラン」に掲げた、シンボルロードの整備や伝承館（仮称）の整備をはじめとする事業に取り組んでいる。

これらの事業を新庁舎建設にあわせて実施し、中心市街地への人の流れをつくり、あわせておもてなしイベント等を実施することで、中心市街地の賑わいに繋げていきたい。今後関係部署等とも連携を図り、中心市街地の活性化に向け、取り組んでいきたい。



堀 徹男



質問通告

- 地域学校協働活動事業について
- 住民自治によるまちづくりについて
- 市有施設・所有地の除草について
- 南部幹線（県工事区間）の進捗について

◆南部幹線（県工事区間）の進捗について

問 都市計画道路・南部幹線については、本市の工事区間が供用開始された現在、その北側部分は麦島幹線と丁字路で結節しているが、信号機が設置されなかったため、小・中学生の登下校時をはじめ、高齢者にとつても、朝の通勤時間帯の車の右左折時にも、いつ交通事故が起きても不思議ではないほど危険な要素をはらんでいる。信号機をつけていただきたいとの地域の要望には、全線開通が前提であるとの回答で交通事故防止を願う要望はかなわなかった。そこで前川を挟む区間の全線開通はいつなのか県側の進捗状況について伺う。

答 建設部長 県へ確認したところ、これまでに用地測量・橋梁の詳細設計が完了し、前川兩岸付近から用地取得を進めている。平成二十九年度末での事業費ベースで約3%の進捗であり、二〇二四年度の完成に向け、予算確保に努めていく。市としても市長自ら先頭に立ち予算確保の要望に務めていく。



高山 正夫



質問通告

- 八代市立病院について
- 定住自立圏構想について

◆八代市立病院について

問 本病院再編計画について市は、議会での議論を含め市民に対し、丁寧に説明していると思う。しかし、一部の住民から話し合いや説明もなく、廃止は無責任であるとの声を聞くが、実情を伺う。また、多くの住民は、診療内容が充実した現地での外来継承を望んでおり、本議員も再編計画は正しかったと実感できる結末を期待している。市長の考えを伺う。

答 市長 市立病院の問題については「病院改革プラン」や「あり方検討会」「病院事業検討会」における庁内職員や医療関係者、宮地校区長・婦人会長などの地元住民も交えた長期に渡る検討の積み重ねに加え、八代市郡の医師会代表の方々との意見交換を行った上で今回の再編計画が最善の解決策であると考え決断した。今後とも地元の熱意に応えられるよう整形外科診療など今以上に充実した医療を地域の皆さんに提供いただけるよう協議を進めていく。



百田 隆



質問通告

- 危険ブロック塀への対応について
- クルーズ客船入港に伴う受け入れ対策について
- スポーツによる交流拠点づくりについて

◆スポーツによる交流拠点づくりについて

問 市の第二次総合計画の中では、人口を十二万人維持するとされている。そのような中、交流拠点づくりの一つとして、スポーツによる拠点づくりは重要な構想である。そこで、本市は、県南の中心都市であることから、県立体育館を誘致することで、県南スポーツ拠点を確保するとともに、災害時における避難所としての利用が可能となる。市の考えを問う。

答 経済文化交流部長 現在、本市の二十五カ所の体育施設のうち七カ所が室内競技場であり、活用方針については、「八代市体育施設あり方検討会」からの提言をいただいているところである。今後、「八代市公共施設等総合管理計画」に基づき、スポーツ振興計画や提言を参考にしながら、体育施設の個別施設計画を作成していくことになるが、その中で、防災拠点や避難所の確保という視点から県立体育館の誘致について、その必要性や実現性についてもあわせて検討していきたい。

各常任委員会の活動報告 (H30.7 月以降)

総務委員会

総務委員会では、「安心・安全で魅力ある都市を築く」をテーマに、本市の行財政全体を見渡し、様々な行政課題の解決に向けて取り組んでいきます。また、本市の指針となる総合計画についても、より良い事業が実施されるよう、協議・調査を進めていきます。

★所管事項

- 市長公室の所管に属する事項
- 総務企画部の所管に属する事項
- 財務部のうち財政課、新庁舎建設課、市民税課、資産税課及び納税課の所管に属する事項
- 市民環境部のうち市民活動政策課、市民課及び人権政策課の所管に属する事項
- 会計課の所管に属する事項
- 選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項

主な調査項目

- 行財政の運営に関する諸問題の調査
- 総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査

管内調査について

日程 平成30年7月27日(金)

視察先 ●高田コミュニティセンター

高田コミュニティセンターは、昭和48年に建築され、市内コミュニティセンターの中でも最も古く、さらには熊本地震の影響により建物内に大きな亀裂が入るなどしたことから、平成32年度の改築に向け、計画が進められている。そのような状況を調査するため、現地視察を行った。

●宮地コミュニティセンター

宮地コミュニティセンターは、施設管理業務の一部を宮地まちづくり協議会に委託しており、同協議会において、さまざまな取り組みがなされているところである。今回、まちづくり協議会から話を伺うことにより、コミュニティセンターの現状や課題を調査するため、現地視察を行った。

●旧 宮地東小学校

旧宮地東小学校は、ファシリティー・マネジメントの活用事例であり、廃校となった学校校舎を民間に貸し付けることにより、歳出の削減や地域の活性化を図るなどの効果を得られているところである。今回、本市におけるファシリティー・マネジメントの先駆的取り組みを調査するため、現地視察を行った。

《視察先での様子》

▼高田コミュニティセンター



▼宮地コミュニティセンター



▼旧 宮地東小学校



参加委員 前川祥子(委員長)

大倉裕一

橋本隆一

村川清則(副委員長)

古嶋津義

村上光則

村山俊臣

文教福祉委員会では、「誰もが幸せを実感できる暮らしの実現」に向け、地域医療と福祉の充実や高齢者と障害者の見守り、また、健康長寿の推進とより良い教育環境の整備に向けた取り組みについて協議を進めています。

主な調査項目

- 教育に関する諸問題の調査
- 保健・福祉に関する諸問題の調査

★所管事項

- ・健康福祉部の所管に関する事項
- ・教育委員会の所管に関する事項

管内調査について

日 程 平成 30 年 8 月 6 日(月)

視察先 ●学校法人八代聖愛学園 認定こども園 聖愛幼稚園

認定子ども園とは、教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持つところ。対象は 0 歳～5 歳。保護者が働いている・いないに関わらず、3～5 歳のどのお子さんも利用できるため、保護者の就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できることが大きなメリットになります(0～2 歳のお子さんは、保育の必要性の認定を受ける必要があります)。また、認定こども園では、園に通っていないお子さんのご家庭でも、子育て相談や親子交流の場として利用可能である。そのような状況を調査するため、現地調査を行った。

●八代市西松江城 老人憩いの家

老人憩いの家は、市町村の地域において高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的として、1965 年に厚生省社会局長が各都道府県知事に通知した「老人憩いの家設置運営要綱」に沿って市町村が設置する高齢者福祉施設である。その施設の状況を把握するために、現地調査を行った。

●NPO 法人八代福祉開発・集いの家

集いの家は、障がいを持つ方が住み慣れた地域で家族や友達と暮らす社会を実現するため就労の機会を提供し生産活動に係る知識や能力向上の支援を行っている。その支援の内容について現地調査を行った。

《視察先での様子》

▼聖愛幼稚園



保育現場の現状等について説明を受け意見交換後、園内を視察しました。

▼老人憩いの家



娯楽室・浴場を視察し、利用者の方から貴重なご意見を伺いました。

▼集いの家



施設の代表者から説明を受け、障がい者の方々の作業の様子を見学しました。

《第3回管内調査を終えて》

今年度、当委員会が担当します官民を問わない施設・事業の実態調査を行っております。制度改革等に伴い、さまざまな課題も見えてきました。今後も定例会月を除く各月に管内調査を行い、市民の皆様の福祉向上のために、日々研鑽を重ねて参ります。

参加委員 上村哲三(委員長)

橋本幸一(副委員長)

金子昌平

鈴木田幸一

野崎伸也

橋本徳一郎

福嶋安德

平成30年9月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議 案 名
議案第 97号	平成29年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
議案第 98号	平成29年度八代市病院事業会計決算の認定について
議案第 99号	平成29年度八代市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
議案第100号	平成30年度八代市一般会計補正予算（第6号）
議案第101号	平成30年度八代市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第103号	専決処分の報告及びその承認について（平成30年度八代市一般会計補正予算（第4号））
議案第104号	専決処分の報告及びその承認について（平成30年度八代市一般会計補正予算（第5号））
議案第105号	市道路線の認定について
議案第106号	契約の締結について
議案第108号	八代市建築基準条例及び八代市手数料条例の一部改正について
議案第109号	八代市坂本地域福祉センター条例等の一部改正等について
議案第110号	八代市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
議案第111号	日奈久温泉イベント広場条例の一部改正について
議案第112号	八代市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正について
議案第113号	八代市簡易水道事業給水条例の一部改正について
議案第125号	平成30年度八代市一般会計補正予算（第7号）

〔賛成多数により可決した議案〕

議案番号	議 案 名	福嶋	田方	成松	増田	金子	北園	百田	上村	高山	前川	橋本	谷川	村川	古嶋	村山	西濱	中村	鈴木	橋本	太田	橋本	庄野	亀田	山本	堀	野崎	大倉	村上
議案第102号	平成30年度八代市病院事業会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
議案第107号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第126号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（松永 松喜氏）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
議案第127号	監査委員の選任につき同意を求めることについて（増田 一喜氏）	-	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

○＝賛成 ×＝反対 －＝議長及び欠席者 除＝除斥（規定により採決に加われない）※福嶋安徳議員は議長のため採決には加わっておりません



◆演 題 『地域を元気に～心がフツと軽くなる
「瞬間の心理学」～』

◆講 師 精神科医、相愛大学、高野山大学客員教授
名越 康文氏

第26回熊本市議会議員研修会 開催されました。

去る8月20日、熊本市のKKRホテル熊本において熊本市議会議員研修会が開催され、本市議会の議員も多数参加しました。

本研修は、議員の資質向上を図ることを目的に、熊本市議会議長会の主催により、県下14市議会の議員を対象として行われました。

熊本市議会議長会開催

十月十一日（木）に本市で「熊本市議会議長会」が開催されました。県内各市議会から正副議長が参加し、国に対して、教職員や学校支援職員を適正に配置するための施策や財政的な補助を求める議案、中九州地域の交通網の整備促進を求める議案の二議案が決定されました。

この議案は九州市議会議長会へ提出されることとなります。

また、環境センター「エコイトやつしろ」の施設見学や八代外港地区で四月から供用開始した「新コンテナターミナル」内においてガントリークレーンの視察が行われました。



平成 29 年度決算に係る審査について

平成 29 年度八代市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算が、9 月定例会閉会日の 9 月 21 日に上程され閉会中の継続審査に付されました。なお、全ての決算議案については、各常任委員会で認定がなされました。各常任委員会の審査日程は下記のとおりです。

決算審査に係る各常任委員会の審査日程

9 月	28 日（金）	文教福祉委員会
10 月	1 日（月）	建設環境委員会
10 月	2 日（火）	経済企業委員会
10 月	5 日（金）	総務委員会

※これまでの決算審査は、決算審査特別委員会を設置していましたが、平成 28 年度分から同特別委員会は設置せず、関係する常任委員会に分割付託し審査が行われました。



エコイトやつしろ



新コンテナターミナル

編集後記

猛暑、西日本豪雨、迷走台風、北海道地震。七月から異常気象や天災が続きました。犠牲者の方々に衷心よりお悔やみ申し上げ、一日も早い復旧を祈念します。「未曾有」「想定外」「記録的」等以前は事象後に聞いていたものが、最近では注意喚起の言葉として多用されています。反面、慣れも懸念され、これくらいなら避難しなくても大丈夫との思いが生死を分けたと聞きます。

また、必要な情報が必要な人に届いていなかったことも指摘されています。情報の伝達・共有化は、有事は勿論、協働のまちづくりにおいても重要な課題です。

八代市議会は議会だよりやさまざまな媒体を通じ、情報開示・伝達をより一層強化し、市民の皆さんへ必要な情報を提供していきます。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

